

## 「竹あかりの縁」～共に照らそう網代のまち～

### Connection by Bamboo Lanterns～Let's light up the town of Ajiro together～

石井颯太<sup>1)</sup>・神崎寛偉<sup>1)</sup>・續健太<sup>1)</sup>・馬場桜<sup>2)</sup>・鈴木美乃<sup>3)</sup>

日本大学危機管理学部危機管理学科1),  
日本大学生物資源科学部森林資源科学科2),  
日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科3)

静岡県熱海市網代で2023年11月11日に行われた地元密着型イベントの企画・運営に参加した。参加の背景には地域課題がある。網代は少子高齢化や人口減少が顕著な地域であり、加えて網代にある長谷寺の敷地内にある竹林が放置竹林になり、土砂災害のリスクが顕在化している。この課題から、伐採した竹で地域を盛り上げるイベントを開催することで、地域課題に対する認知向上と竹活用について考えるきっかけを作り、地域課題改善の一助とすることを目標とした。本プロジェクトは熱海市で活動するNPO法人熱海キコリーズと網代で活動する一般社団法人あじろ家守舎を連携団体とした。

本プロジェクトの活動は月二回程度週末網代に宿泊して行う現地での活動と、オンラインの活動に分けられる。現地での活動では網代と向き合い、竹の扱い方について指導を受けながら竹を使用した展示物などの制作を行った。また各活動回で、連携団体とイベントのビジョンや制作過程やゴールを確認し、今後の予定について随時検討した。検討内容に応じて、ZOOM等を使用し、ミーティングを行った。

イベント名は「竹あかりの縁～共に照らそう 網代のまち～」である。チラシ・パンフレットを約200部ずつ配布し、推定参加者数は250人を超える。地元住民からは、本イベントが網代の地域活性化に繋がる可能性を感じてもらい、今後の開催も希望されている。

本プロジェクトではイベントの企画・運営を行い、網代を舞台に老若男女問わず活気のあるイベントの開催を実現した。また、竹を灯籠などに加工し、竹の利用法を提示することで竹を用いた工芸品の魅力を発信することができたと考えている。

イベントの企画・運営に対し、学生にしかない関わり方と情熱で取り組むことができたことから、日本大学の後輩に第2回竹あかりの実現を強く願うとともに、竹の二次利用として工芸品の魅力を伝える活動が広がることを祈っている。

We organized a local event that took place last November in Ajiro, Atami, Shizuoka Prefecture. The background of this event was to solve a local problem. One of the local issues is that the bamboo grove on the grounds of Chokokuzi Temple in Ajiro has become an abandoned bamboo grove due to the aging of the local population, increasing the risk of landslides. In addition, Ajiro is an area with a declining birthrate and aging population, and the population is currently decreasing due to the number of people going on to higher education and finding employment. In light of the above issues, the goal of the event was to raise awareness of local issues and create an opportunity for people to think about the use of bamboo by turning harvested bamboo into crafts and holding an event to enliven the community with bamboo lighting. As a result of the event, more than 250 people attended, and participants felt that this event had the potential to revitalize the Ajiro community and gave their opinions on the prospects for future events. We would like to firmly pass on this valuable student-led opportunity to the younger generation.

## ■SDGs の分類（番号・目標）

- 9・産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11・住み続けられるまちづくりを
- 12・つかう責任つくる責任
- 15・陸の豊かさを守ろう

## ■略歴

危機管理学部 学生 3 名（石井颯太 神崎寛偉 續健太）所属団体「NU SDGs Project.」略歴

2022 年 3 月 団体立ち上げ

2022 年 6 月 日本大学本部広報取材（学部広報動画出演）

2022 年 7 月 オープンキャンパスにて初イベント開催

2022 年 10 月 「SDGs を知ろう！電子スタンプラリー/ガチャ」イベント開催

2023 年 3 月 令和 4 年度日本大学自主創造プロジェクト「優れたプロジェクト」選考会 内定

2023 年 5 月 「女性の体への理解を深めるプロジェクト」をスタート

2023 年 11 月 学園祭にて生理痛を疑似体験できるイベントを開催（NHK 取材、TV 出演）

## 「竹あかりの縁」～共に照らそう網代のまち～ 略歴

2023 年 8 月 26 日～27 日 キックオフ（顔合わせ）

2023 年 9 月 9 日～11 日 制作期間①

2023 年 10 月 7 日～8 日 制作期間②

2023 年 10 月 14 日～15 日 制作期間③

2023 年 11 月 10 日～11 日 制作期間④/本番/撤収作業

2023 年 12 月 反省会